

VINEYARD DATA

畑の見学

- 主な栽培品種：ピノ・ノワール、ソーヴィニヨン・ブラン、オーセロワ、ピノ・グリ、他
- 栽培面積：2.5ha

歌志内上歌ヴィンヤード

- 〒 北海道歌志内市上歌32-15
- ☎ 非公開
- 📧 非公開



樹を観察する遠藤さん



北海道歌志内市、
ワインで地域復活への
再挑戦

歌志内上歌ヴィンヤード

Utashinai Kamiuta Vineyard

1991年、かつては炭鉱で栄えた北海道歌志内市の地で、最初のワイン用ブドウ栽培がはじまりました。しかし、炭鉱閉山に伴い事業譲渡し、その後も栽培を続けてきましたが栽培技術員の独立、エゾシカによる被害等により、圃場は耕作放棄地になり、2016年、市が再起をかけて試験栽培事業に乗り出しました。荒れ果てた土地を開墾し、苗木を植え、この7年間で青々とした圃場の蘇りに直接携わったのは遠藤真人さん。現在は市から譲渡を受け、独立して畑を管理しています。「13種類の樹を植えて、この寒い地に可能性がある品種をブドウを観察しながら探っています。健全なブドウができれば、必ずとワインはついてくると思っています」と語ります。

VINEYARD DATA

畑の見学

- 主な栽培品種：ピノ・ノワール、シャルドネ、ツバイゲルト、ピノ・グリ、ナイアガラ
- 生産本数：1,000本/年 ●栽培面積：2.8ha
- ファーストヴィンテージ：2021年
- ラインナップ：ナイアガラ Sans Soufre、セイベル
- 購入方法：メール・FAX

Tsuruyama vineyard

- 〒 北海道雨竜郡沼田町字沼田115番地110
- ☎ 8:00~17:00
- ☎ 0164-34-5246
- 📧 kattinn1007@gmail.com



<ナイアガラ San Soufre 2022 / 750ml>



雪深い地域ならではの
味わいを

Tsuruyama vineyard

Tsuruyama vineyard

滋賀県で建設業を営んでいた鶴山甲晋さんが、北海道で農家になるという夢を叶えるために沼田町に移住されたのが2011年。もともと副業で稲作を手がけていたのと、地元の方々の手厚い協力があったので、農家としてのスタートはそれほどハードルが高いものではありませんでした。沼田町はもとブドウ栽培の盛んな土地、農作業の手が空く冬期間を利用してワイン醸造ができないかという思いと地の利を活かしたアイデアでブドウ栽培がスタート。2021年から滝沢ワイナリーに醸造を依頼、2023年は栗沢町の醸造家、浦本忠幸さんに委託しました。ご自身も自社ワインの醸造を目指し、もっか勉強中だそう。「北空知ならではのブドウの味わいを活かしたワイン造りを目指したい」と鶴山さんは話します。

区分	全道	上位5振興局				
		後志	空知	上川	十勝	檜山
面積 (ha)	449.1	192.1	90.4	65.4	40.3	32.4
加工専用品種	383.1	138.2	86.4	60.7	40.3	32.4
生食用加工兼用	66.0	53.9	4.0	4.7	0.0	0.0
収穫量 (t)	2,473.3	1,340.0	529.5	285.0	176.0	73.3
加工専用品種	1,832.0	750.2	506.8	261.1	176.0	73.3
生食用加工兼用	641.3	589.8	22.7	23.9	0.0	0.0

(資料：北海道農政部 醸造用ぶどう導入の手引(改訂第4版) 令和4年10月 (https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsk/kaiju/jouzouyubudou.html))

振興局別醸造用ぶどうの生産状況 (令和2年)

北海道の醸造用ぶどう専用品種の栽培面積は全国最大であり、近年の栽培面積は400ヘクタール前後で推移している。空知は14振興局の中で、面積・収穫量とも第2位の規模を有している。

北海道の醸造用ぶどうの生産動向



COLUMN